

資料 1

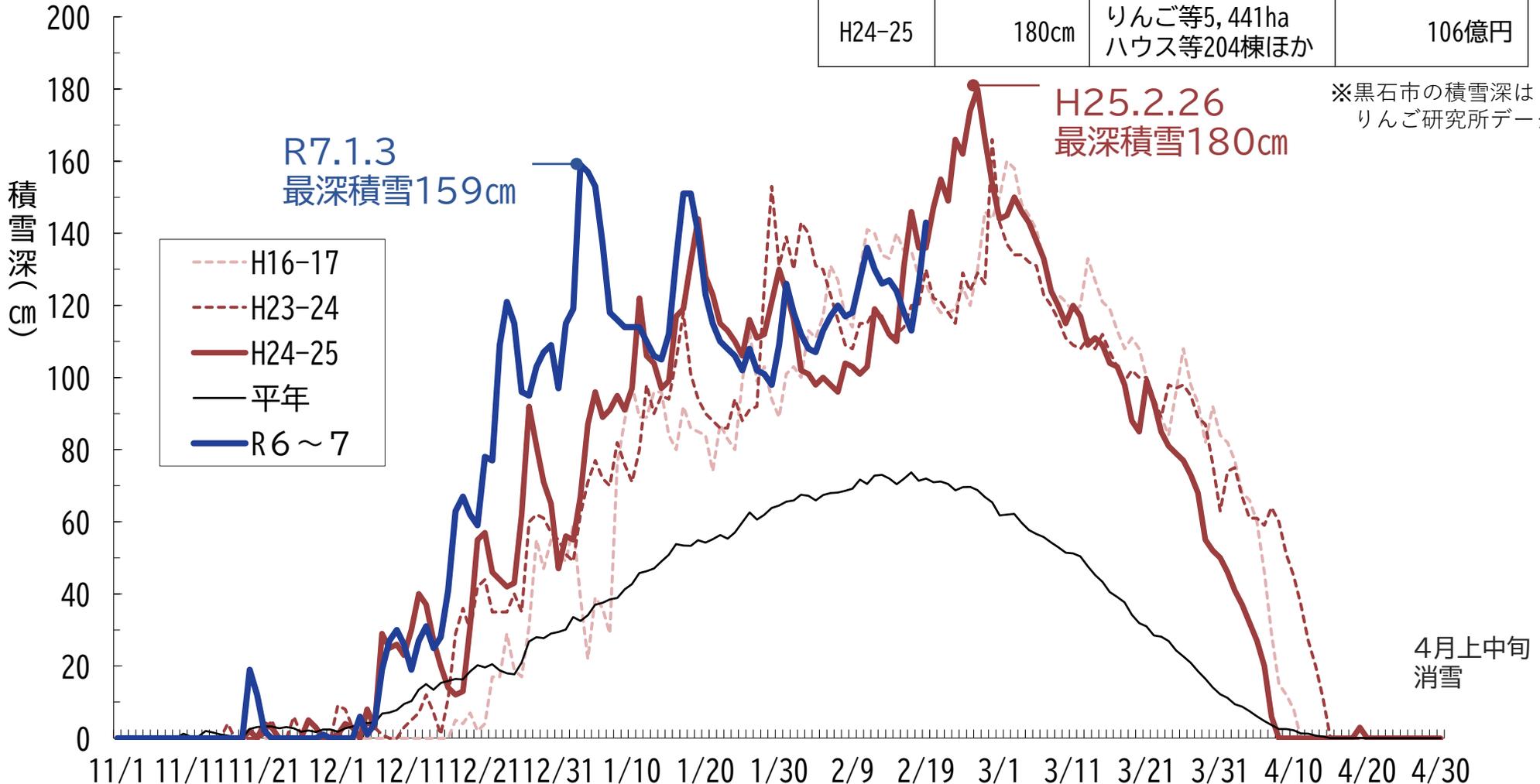
令和6年12月からの豪雪による農業被害状況と対応

令和7年2月21日
青森県

積雪深（黒石市）と過去の雪害

1月の積雪深としては、歴代1位
（これまでの最高はH24の153cm）

年	最深積雪 （黒石市）	被害内容	被害金額
H16-17	160cm	りんご等6,861ha ハウス等312棟ほか	126億円
H23-24	166cm	りんご等5,245ha ハウス等593棟ほか	108億円
H24-25	180cm	りんご等5,441ha ハウス等204棟ほか	106億円



被害状況 (R7. 2. 20現在)

被害額： 155, 387千円 (判明分)

(1) 農作物被害

- ・りんご等枝折れ 11市町村 (青森市、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、西目屋村、五所川原市、板柳町、鶴田町)
- ・シャインマスカット※ 1市 (つがる市)
- ・ほうれんそう※ 2市町 (青森市、藤崎町)

ほか

※パイプハウス倒壊に伴う農作物被害

(2) 農業関係施設被害 80, 110千円

- ・パイプハウス 16市町村 171棟 (青森市、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、五所川原市、つがる市、板柳町、鶴田町、中泊町、十和田市、七戸町、東北町、六ヶ所村)
- ・農業用倉庫 3町 4棟 (鱒ヶ沢町、板柳町、鶴田町)

ほか

(3) 畜産関係施設被害 75, 277千円

- ・牧草保管庫 2町村 2棟 (東北町、六ヶ所村)
- ・牛舎 2市村 2棟 (青森市、六ヶ所村)
- ・鶏舎 1市 2棟 (弘前市)
- ・堆肥舎 2市町 3棟 (青森市、七戸町)

ほか

被害発生市町村

- 農作物被害
- 農業関係施設被害
- 畜産関係施設被害



りんごの枝折れ (板柳町)



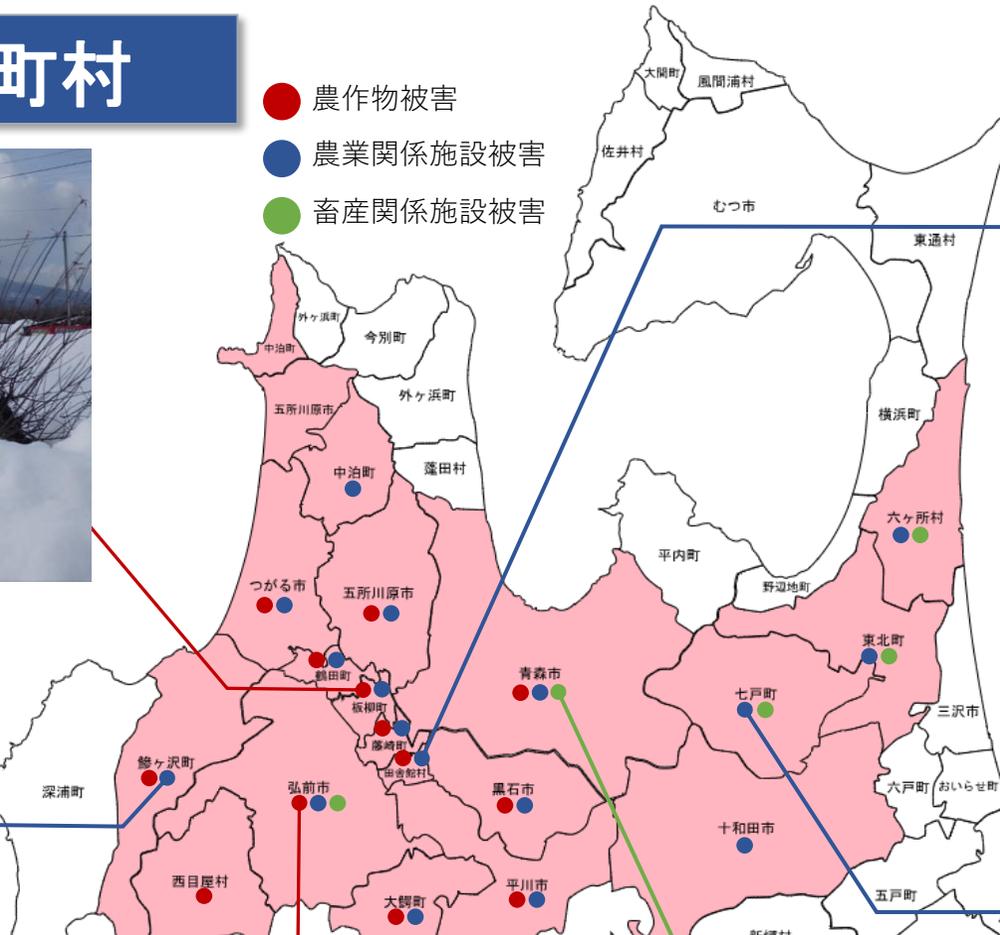
農業用倉庫倒壊 (鱒ヶ沢町)



りんごの枝折れ (弘前市)



牛舎倒壊 (青森市)



ハウス倒壊 (田舎館村)



ハウス倒壊 (七戸町)

これまでの対応

- ・ 令和7年1月4日 青森県豪雪対策本部設置
臨時農業生産情報を発表し、注意喚起
- ・ 1月6日～7日 県内全域で巡回調査を実施
- ・ 1月7日 県内10市町村に対し災害救助法を適用
- ・ 1月9日 青森県農業共済組合に対して、共済金の迅速かつ確実な支払体制の確保等を要請
- ・ 1月10日 関係団体等を参集した令和7年りんご雪害防止連絡会議を開催
- ・ 1月12日 知事現地視察（弘前市、平川市、田舎館村）
- ・ 1月14日 臨時農業生産情報を発表し、注意喚起
市町村に対して、市町村が管理する農道の早期除排雪の実施と生産者に対する雪害防止対策の周知徹底を依頼
- ・ 1月15日 りんご生産情報号外を発表し、注意喚起
- ・ 1月24日 知事現地視察（青森市、黒石市、藤崎町、板柳町）
- ・ 2月4日 令和6年度りんご雪害軽減事業を専決処分
臨時農業生産情報を発表し、注意喚起
- ・ 2月7日 県議会農林水産委員会と県が合同で、庄子農林水産大臣政務官と面会し、
豪雪被害の復旧に対する支援を要望



知事の現地視察

<参考>

令和6年度りんご雪害軽減事業の概要

予算額:71,550千円

豪雪によるりんご樹の枝折れ等の被害拡大を防止するため、生産者が緊急的に無人ヘリ事業者に委託して融雪促進剤を空中散布する際の経費を支援する。

対象経費	青森県内の生産者が県内のりんご園地で実施する <u>無人ヘリ又はドローンによる融雪促進剤の散布経費</u> ただし、融雪促進剤の購入費用は含まない。
補助率	請負経費（税抜き）の <u>3分の2以内</u> ただし、 <u>2,650円/10aを上限</u>
申込期間	令和7年2月4日（火）～令和7年2月28日（金）まで
申込先	JA組合員 ▶ 最寄りのJAへ申込み JA組合員以外 ▶ 最寄りの市町村へ申込み



参考：10a当たりの融雪促進剤散布に係る生産者負担額イメージ（税込み）

融雪促進剤散布 標準請負経費①※	県の補助金 ②	生産者散布費用負担額 ①－②＝③	融雪促進剤 購入費用④※	生産者負担額合計 ③＋④＝⑤
4,400円 (うち消費税400円)	2,650円 <small>(①の税抜きの3分の2以内)</small>	1,750円 (うち消費税400円)	2,400円 (うち消費税218円)	4,150円 (うち消費税618円)

※800円（税込み）の融雪促進剤を60kg散布したときの費用を想定。散布費用や融雪促進剤購入費用は変動する場合があります。

今後の対応

①被害の軽減に向けた対応

- ・ 関係機関等と連携し、生産者に対して雪害対策の巡回指導等を実施
- ・ 必要に応じて、臨時農業生産情報を発表し、生産者等へ注意喚起

②被害状況の把握

- ・ 引き続き、被害情報を収集
- ・ 雪解け後（3月以降）、詳細な調査を実施



融雪促進剤の散布



今年は積雪量が非常に多く、既に一部の園地ではりんごの枝折れ被害が確認されています。

りんごの樹冠が埋もれ、下枝が雪に埋まった状態が長くなると、枝折れや裂開の他に、下枝の花芽の生育が遅れ、果実肥大に影響を及ぼすことから、りんご園の早期融雪に努めてください。

- ◆雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしを行いましょう。
- ◆雪に埋もれた枝を掘り上げるか、枝先を抜き上げ、その下の雪を踏み固めましょう。なお、雪に埋まった枝の掘り上げが困難な場合は、下枝周辺を溝切りするかスコップで雪に切り込みを入れ、沈降力の軽減に努めましょう。
- ◆剪定で除去する見込みの枝が雪中に埋もれている場合は、早めに切り取り、塗布剤を塗るなどして切り口を保護しましょう。
- ◆晴天が数日続く日を選んで融雪促進剤を散布しましょう。
- ◆野ネズミによる被害を防ぐため、幹の周りの雪を踏み固めましょう。食害が見られた場合は、被害の程度に応じて塗布剤を塗布しましょう。



令和7年1月発行

青森県「農林水産力」強化本部 果樹部会（県りんご果樹課 TEL017-734-9492）